

## 臨床検査業務功労者 厚生労働大臣表彰 ～日臨技 60 周年記念式典にて～

事務局長 橋内 健一

平成 23 年 11 月 11 日 (金) 品川プリンスホテルにて、社団法人日本臨床衛生検査技師会 創立 60 周年・法人化 50 周年記念式典が開催されました。

この記念式典において厚生労働大臣表彰 表彰状授与式が行われ、総勢 92 名の会員の方が受賞されました。

北海道からは、

- 東 恭悟 技師 (札幌医科大学附属病院)
- 及川 雅寛 技師 (KKR札幌医療センター)
- 佐藤 和昭 技師 (札幌医科大学附属病院)
- 田上 稔 技師 (北海道対がん協会)
- 畑中 宗博 技師 (北見赤十字病院)
- 松田 直哉 技師 (函館五稜郭病院)

の 6 名の方が受賞されました (写真)。

記念式典翌日の 12 日 (土) には、日臨技 平成 23 年度臨時総会が開催されました。活発な審議の上すべての議案が承認されましたことをここでご報告いたします。また、北臨技ニュース等でお願ひしてまいりました委任状提出についてご協力いただきお礼申し上げます。

↓写真は左から、

松田技師、畑中技師、田上技師、佐藤技師、高田日臨技会長、及川技師、東技師

受賞おめでとうございます。



(会場の品川プリンスホテル メインタワー シルバーにて)

### 第 167 回北臨技講習会 終了報告

#### ～検体検査におけるピットフォール No. 2 免疫検査～

生物化学分析部門 佐藤 繁樹

平成 23 年 11 月 5 日 (土)、札幌医科大学において第 167 回北臨技講習会を開催し免疫検査における異常反応を取り上げた。講演 1 は免疫検査メーカー 3 社に、感染症関連、甲状腺関連、腫瘍マーカー関連検査の異常データの解析や注意点、また、病態から見た HBV 感染症における注意点 (オカルト HBV) 等について講演していただき、講演 2 は「免疫化学的分析法におけるピットフォールについて」と題し、東京慈恵会医科大学附属病院中央検査部 阿部正樹技師に免疫検査における異常反応の解析手順など実例をもとに講演していただいた。

近年、感染症、甲状腺ホルモン、腫瘍マーカー検査は迅速検査の対象となっているが生化学分析とは異常反応のメカニズムが異なり、知らないうちに誤ったデータを報告してしまう危険性をはらんでいるので、今後も生物化学分析部門に於いて継続して免疫関連の講習会を企画していきたい。

### 平成 24・25 年度 役員候補者選出について

会長 及川 雅寛

10 月 29 日 (土) 北臨技会館において役員推薦委員会を開催しました。平成 24・25 年度の新役員候補者の選出にあたることとなりますが、北臨技は平成 24 年度 4 月 1 日から一般社団法人への移行を計画しており、この移行期の狭間において、旧定款上の縛りのある現規程では役員候補者の選出方法などに矛盾が生じるため、新定款及び法人法に沿う形で役員候補者選出規程を改正した中での新役員候補者選出を役員推薦委員会にお願いしました。

新法人移行後は総会が年 1 回となり、総会から 2 年後の総会までが役員の任期となりますが、24 年度に限っては移行期であるため 24 年 4 月 1 日から 26 年総会までの変則期間となりますことを、ご了解ください。

### ◆ 精度保証施設認証制度の申請、はじまる ◆

副会長 東 恭悟

日臨技では、昨年度より臨床検査データ標準化事業等により、データの信頼性が十分保証されていると評価できる施設に対して、「精度保証施設」として認証する「精度保証施設認証制度」を発足し全国の 364 施設が認証され新聞や業界紙等にも掲載されました。北海道では、基幹施設 5 施設を含む 12 施設が認証されていますが、平成 24 年度の申請が 12 月 1 日から始まります。

認証には日臨技および都道府県で実施している外部精度管理調査の成績証明などがありますが、今回の申請まで、都道府県技師会への要求事項を暫定的に緩和し「都道府県の精度管理調査事業へ参加していること」とされており。各施設における精度保証に対する意識の向上および臨床検査データの標準化が国内全施設に浸透することは、日本の医療の質の向上につながります。今後は、認証制度が定着し、施設認証が診療報酬に反映されることが望まれますが、この制度の重要性をご理解いただき申請の検討をお願いいたします。

※ 詳細は同封のご案内および日臨技 HP をご覧ください。

※ 申請書類は日臨技 HP からダウンロードできます。

### ☆ 基礎セミナーのお知らせ ☆

- 第 1 回基礎セミナー「心電図・エコー検査の基礎」  
日時：12 月 3 日 (土) 13 時 50 分 会場：苫小牧市立病院
  - 第 2 回基礎セミナー「血液形態検査の基礎」  
日時：12 月 10 日 (土) 13 時 20 分 会場：室蘭市市民会館
- ※ 募集期間を過ぎていますが、第 2 回基礎セミナーについては 12 月 2 日 (金) まで募集延長します。
- ※ これら基礎セミナーは次年度以降も地区での開催を計画しております。(開催地未定)

◆◆ 今月の北臨技ニュースは学会特集ページとの 2 枚組みです

◆◆ 求人情報は裏面に掲載しております

### ◆ 踏み出せ一步！その勇気が自分(検査室)を変える！ 第86回北海道地区医学検査学会報告 ◆ 学会長 高野 良二

第86回北海道地区医学検査学会は、平成23年10月22日(土)、23日(日)の二日間に亘り、とちプラザ(帯広市)において開催されました。本学会に参加・ご支援いただきました北臨技会員・関係各位の皆様に対し、十勝地区会を代表して、心より感謝とお礼を申し上げます。参加者500名を超え、大盛況でした。

招待講演においては、川島隆太先生(東北大学加齢医学研究所教授)に「脳を鍛える」と題して、講演していただきました。特に、認知症の最新の治療成果についてご紹介していただき、多くの聴講者が感動したのではないかと思います。

シンポジウムでは、「ローテーションと人材育成」と題して、友田 豊技師(旭川医大病院)、菅原良雄技師(釧路市立総合病院)、高柳由佳技師(釧路孝仁会記念病院)の3人のシンポジストによって、講演していただきました。会場から廊下に溢れ出てしまうくらいの方々がこられ、ご迷惑をおかけしました。うれしい誤算でした。聴講者も若い方から中堅を含む幅広い年齢相の方々がおられました。また、後日、本シンポジウムを聴講して元気ができました！と、お礼の言葉をいただきました。

本学会の画期的な企画として、ハンズオンを用いたライブセミナーがありました。超音波領域・神経伝導検査領域・生理検査システム領域・肺機能検査領域において実技を伴った

セミナーは、機器メーカーのご協力の中、多数の参加者で盛況に行われていました。

もうひとつの企画として、スタンプラリーがありましたが、年々寂しくなってきた展示会場を盛り上げ、会員を積極的に展示会場へと足を運ばせる意図が見事に的中いたしました。二か所に分かれた展示会場に満遍なく足を運んでくださり、展示会場が多くて溢れていました。また多くの会員が景品のスイーツを手に入れていました。このハンズオンとスタンプラリーは今後の北臨技学会で、さらなる発展をしていただければと思います。

懇親会においては、十勝地区会会員も所属している帯広吹奏楽団による演奏もあり、240名を超える参加者の中で食事をしながらの懇親を深め、大盛況でした。

最後になりますが、十勝地区会が全力を挙げ、一致団結して学会を無事成し遂げたことは、十勝地区会にとって、十勝地区会のさらなる絆を深められたと確信しています。また、岡田豊治実行委員長はじめ実行委員の皆様素晴らしい連携と働きにより、本学会が成功したことに疑いの余地はありません。

追伸

学会会場にクマの着ぐるみが時々、徘徊していたようですが、あれも立派な企画なのでした。



高野 良二 学会長



及川 雅寛 北臨技会長



十勝地区会の皆さんです。そして、横断幕に注目！

#### ◇はじめての実務経験を体験して◇

NHO帯広病院 貝谷 光英

十勝地区会の理事として1年数か月前から準備が始まり、理事会や実務委員会に参加、薄曇りのまま歳月は経ち♪なんと言う事でしょう♪残り数週間！ここで役割分担が決まり、会場責任者を任せられ、ドン曇りとなりましたが、任せられたからには！と気分を振り払う思いで学会資料を何度も読み返し、把握したつもりで、いざ出陣！各会場からは、背筋も凍る様なトラブル発生の情報もありましたが、中枢部の統率力と実務委員の機動力で事なきを得て、担当会場では、緊張からの玉の汗をぬぐいながら、諸先輩方や実務委員の方に指示を出すも、逆に指導、指摘を受け、随所で助けて頂き、運営側の苦悩と醍醐味を味わいながら任務をこなし、学会を無事に終える事ができました。

最後になりましたが、当会場へ足を運んで頂いた皆さんには、立ち見などご不便をかけた大変申し訳ありませんでした。

#### ◇はじめて座長・司会をを体験して◇

帯広協会病院 竹田 千恵

座長はその部門において豊富な知識や経験がある方が務めるイメージがあったため、経験が浅く未熟者な私に座長の話が来たときは何かの間違いかと思いました。しかし滅多にない機会であるため引き受けさせていただきました。当日は自分の演題発表の直後に座長というスケジュールでした。演題発表を終えた安堵感と初座長の緊張感が入り混じった気持ちを整理する間もなく混乱したままスタート。落ち着きを取り戻すまでに少し時間がかかりました。更に翌日はワークショップの司会もさせていただきました。どちらもスムーズとは言い難い進行でしたが周りの皆様のご協力により無事に終えることができました。

今回このような機会をいただき大変貴重な経験ができました。座長・司会を務めるにあたり支えてくださった方々に心から感謝いたします。本当に有難うございました。



◇はじめての演題発表◇

帯広厚生病院 前川 尚美

このたび縁があり、はじめて地区学会参加、演題発表させていただくことになりました。今回の地区医学検査学会は地元十勝帯広で開催され、残念ながら雨模様となってしまいましたが、たくさんの演題を聞くことができとても有意義な休日となりました。

数ヶ月にわたる演題発表の準備は、苦悩の繰り返しでした。データ収集から分析、抄録、スライド作成等の発表準備と業務をこなしつつ行うというのはかなり効率の良さを要求され、数々の演題発表をされている諸先輩方に頭のあがらない思いでした。発表当日は心温かい会場の雰囲気のおかげでなんとか終わることができ胸をなでおろしました。

今後も学会活動等に取り組み、切磋琢磨していきたいと思う一日でした。最後に、発表に際して支えてくださった皆様、ありがとうございました。



招待講演 「脳を鍛える」と題してご講演いただいた、東北大学加齢医学研究所教授 川島 隆太 先生です。特に認知症の最新の治療成果については、感動をも覚えるお話でした。



本学会一押し企画、クマの徘徊…!?



正真正銘、本学会一押し企画、ハンズオンを用いたライブセミナー!



スタンプラリーで展示会場も大盛り、景品のスイーツ、美味しかったです!



受付係、ご苦労さまでした。各発表会場も盛況でした!



開会式では、平成22年度北臨技 学会奨励賞 表彰状授与式が行われ、写真は授与式に参加された表彰者の皆さんです。懇親会ではご挨拶をいただきました。ますますのご活躍を期待します!

◇はじめての座長を経験して◇

北斗病院 田中 絹代

10月22、23日に帯広で第86回北海道地区医学検査学会が開催されました。1ヶ月前になって座長を担当することがわかりました。座長なんてまさに晴天の霹靂。私みたいな若輩ものが務めることができるのか・・・『大丈夫か十勝地区会?』と心の中でつつこんでみたものの、あっという間に学会の日が近づいてきました。抄録を熟読し事前に猛勉強したものの珍しい症例に感心するばかりで、なかなか適切な質問など浮かんできません。学会前日まで産みの苦しみを味わいました。

当日は緊張のため全く落ち着かず、会場周囲をウロウロ。しかし会場係は普段見慣れた十勝地区会のメンバーでしたので、皆さんに励まされてなんとか座長の本番を迎えました。本番をちゃんと務められたかはわかりませんが、座長の仕事というものを経験させて頂いき、いかに責任の重い役割であるかを痛感しました。

苦しんだ1ヶ月ではありましたが、非常に良い経験をさせていただくことができました。



懇親会では、十勝地区会会員も所属する帯広吹奏楽団の演奏がありました。

数々の学会運営を経験しています。まさに縁の下の力持ち! 北臨技事務所の渋井さんと4月より勤務していますニューフェイス、斉藤さんです(右)。



本学会に参加、支援していただいた皆様、ありがとうございました。(んっ?クマの徘徊、それは…学会長!?)

